

一神教学際研究センター(CISMOR)/アフガニスタン平和・開発研究センター(RCPDA) 共催

Islamic World and Globalization
- Beyond the Nation State the Rise of New Caliphate
イスラーム世界とグローバリゼーション—国民国家を超えて ネオ・カリフ制の台頭

公開講演会

The Islamic Caliphate between East and West - Historical Reflections and Contemporary Considerations

東西間のイスラーム・カリフ制—歴史的考察と現在の展望

<講師>

Mr. Reza Pankhurst レザ・パンクフルスト氏
(ロンドン・スクールオブエコノミクス LSE 講師)

2011年3月12日(土) 13:00—15:10

同志社大学 今出川キャンパス

明德館1階 M1教室

入場無料・事前申込不要



*お問い合わせ先

同志社大学 一神教学際研究センター(CISMOR)

TEL. 075-251-3972 E-mail: info@cismor.jp HP: <http://www.cismor.jp/>



【 プログラム 】

- | | | |
|---------|-----------------|--------------------------------|
| 1) 開会挨拶 | 13 : 00－13 : 05 | 小原克博 (同志社大学神学部教授/CIMSOR センター長) |
| 2) 講師紹介 | 13 : 05－13 : 10 | 中田考 |
| 3) 講演 | 13 : 10－14 : 40 | レザ・パンクフルスト |
| 4) 質疑応答 | 14 : 40－15 : 10 | |

講師： レザ・パンクフルスト (ロンドン・スクールオブエコノミクスLSE 講師)

司会： 中田考 (同志社大学神学部教授)

【 講師紹介 】

■ レザ・パンクフルスト Reza Pankhurst

英国ブリストル生まれ。

2002年4月、アラビア語習得のために滞在していたエジプトで、Hizb ut-Tahrir に所属し、イスラーム解放党の再興を図ったとしてエジプト政府により不当に逮捕、拷問の被害を受ける。この事件はアムネスティ・インターナショナルによって取り上げられ、メディアに大々的に報道された。2006年3月に解放され、その後は政治活動家として活躍している。

英国に帰国後、大学に戻り学業に復帰する。2007年には優秀な成績でロンドンスクール・オブ・エコノミクス(LSE)で国際関係史の修士号を取得。論文タイトルは"The Caliphate in the Discourse of al-Qaeda's Two Leaders (アルカイダの2大指導者の演説におけるカリフ制について)"であり、後に出版されている。また、2009年よりLSE政治学部にて“州、国家、帝国”について教鞭をとる一方、イスラーム教及びアラブ民族主義についても指導を行っている。

“Reconstituting the Muslim Ummah (ムスリムウンマアの再興)”で博士論文を提出したばかりであり、その中では現代におけるカリフ制(再興)の要求・主張の高まりを受けた国際イスラーム政治組織の設立に関する分析を行っている。